

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月3日

上場会社名 株式会社スカパーJSATホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9412 URL <http://www.skyperfectjsat.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 真治 (TEL) 03-5571-1500  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 仁藤 雅夫  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	37,911	7.8	5,916	466.2	5,663	-	3,420	-
23年3月期第1四半期	35,171	0.5	1,045	△74.1	463	△87.7	△1,053	-

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 3,607百万円 (-%) 23年3月期第1四半期 △1,565百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	1,016	32	-	-
23年3月期第1四半期	△313	15	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
24年3月期第1四半期	330,161		181,613		55.0	
23年3月期	322,078		180,065		55.9	

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 181,473百万円 23年3月期 179,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	-	-	600	00	-	-	600	00	1,200	00
24年3月期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24年3月期(予想)	-	-	600	00	-	-	600	00	1,200	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	75,500	7.1	8,800	69.3	8,400	100.7	4,600	435.8	1,366	80
通期	151,000	6.5	14,000	3.7	13,200	6.5	7,000	58.3	2,079	92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規　　－　社　　　　　　　　　　　、除外　　－　社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　： 無
- ② ①以外の会計方針の変更　　： 無
- ③ 会計上の見積りの変更　　： 無
- ④ 修正再表示　　： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	3,446,037株	23年3月期	3,446,037株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	80,518株	23年3月期	80,518株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	3,365,519株	23年3月期1Q	3,365,519株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている将来の業績、見通しなどは、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は平成23年8月4日に証券アナリスト、機関投資家向けの決算説明会を実施いたします。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災発生直後の混乱を脱し、一部で生産復旧に伴う景況感の改善もみられたものの、原発停止による電力供給不安の全国的な広がりや海外経済の失速から国内消費・輸出とも停滞しており、依然予断を許さない状況が続いております。

このような経済状況のもと、当第1四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は、「スカパー！e2」の加入者拡大、視聴料全額が収益となる「スカパー！HD」への加入者移行の効果、衛星通信の分野で災害対策向けサービスの需要の増加等が増収要因となり、37,911百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

営業費用は、FIFAワールドカップ南アフリカ関連費用が発生した前年同四半期と比較して2,131百万円減少いたしました。

この結果、営業利益は5,916百万円（前年同四半期比466.2%増）、経常利益は5,663百万円（前年同四半期比1,122.1%増）となりました。また、税金等調整前四半期純利益は5,882百万円（前年同四半期は743百万円の損失）、四半期純利益は3,420百万円（前年同四半期は1,053百万円の損失）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は次のとおりです。（業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しております。）

なお、当社は当第1四半期連結累計期間において、各事業セグメントのマネジメント責任をより明確にし、事業セグメントごとの採算性追求と衛星関連資産の一元管理による利益構造の改善を図るため、事業セグメントの資産区分及び損益の算定方法について重要な変更を行っております。当四半期連結累計期間の比較・分析については、この変更の影響を含めております。

また、従来「衛星事業」としておりました報告セグメントの名称を「宇宙・衛星事業」に変更しております。

#### ①有料多チャンネル事業

当第1四半期連結累計期間における有料多チャンネル事業では、受信機がデジタルテレビに内蔵されている「スカパー！e2」の新規加入件数が堅調に推移しました。また、標準画質である「スカパー！」からハイビジョン画質である「スカパー！HD」への加入者移行を促進した結果、「スカパー！HD」の累計加入件数は順調に拡大し、468千件となりました。

解約の状況につきましては、東日本大震災の被災地域における解約率が高いことや、海外サッカーのシーズン終了等の影響から、「スカパー！（スカパー！HDを含む）」、「スカパー！e2」、「スカパー！光」の3サービス合計の月次平均解約率は1.42%（前年同四半期比0.17ポイント増）となりました。

以上の結果、スカパー！3サービス合計の加入件数の純増は16千件となり、当第1四半期連結会計期間末の累計加入件数は、3サービス合計で3,742千件となりました。

当第1四半期連結累計期間における有料多チャンネル事業の営業収益は26,129百万円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益は968百万円（前年同四半期は2,888百万円の損失）となりました。

#### ②宇宙・衛星事業

宇宙・衛星事業では、企業・官公庁の防災対策・BCP（事業継続計画）向け衛星通信サービスの需要が堅調であるほか、海外ビジネスの伸張が収益に貢献しております。

当第1四半期連結累計期間における宇宙・衛星事業の営業収益は、14,366百万円（前年同四半期比8.0%増）、営業利益は5,118百万円（前年同四半期比24.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間における資産合計は330,161百万円となり、前連結会計年度末に比べて8,082百万円増加いたしました。主な増加は有価証券13,622百万円、建設仮勘定2,541百万円であり、主な減少は現金及び預金3,212百万円、通信衛星設備3,364百万円等であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における負債合計は148,547百万円となり、前連結会計年度末に比べて6,534百万円増加いたしました。主な増加は前受収益9,521百万円であり、主な減少は長期借入金889百万円、未払金884百万円等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における少数株主持分を含めた純資産は181,613百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,547百万円増加いたしました。主な増加は四半期純利益3,420百万円であり、主な減少は剰余金の配当金の支払2,019百万円等であります。また、自己資本比率は55.0%となり、前連結会計年度末と比べて0.9ポイント減少いたしました。

(キャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益5,882百万円に加え、減価償却費6,037百万円及びのれん償却額219百万円、前受収益の増加9,521百万円等があり、17,909百万円の収入（前年同四半期は15,669百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還による収入12,300百万円、有価証券の取得による支出2,947百万円及び有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出4,555百万円等により、5,280百万円の収入（前年同四半期は8,249百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払による支出1,903百万円及び長期借入金の返済による1,005百万円等により、3,481百万円の支出（前年同四半期は3,184百万円の支出）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は79,254百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、平成23年5月11日公表の「平成23年3月期決算短信」に記載の連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,543	25,330
受取手形及び売掛金	16,372	16,834
有価証券	47,395	61,017
番組勘定	3,916	2,901
商品	249	301
貯蔵品	639	584
その他	12,332	12,549
貸倒引当金	△340	△309
流動資産合計	109,109	119,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,557	13,428
機械装置及び運搬具（純額）	18,785	17,720
通信衛星設備（純額）	95,098	91,734
リース資産（純額）	4,369	5,163
建設仮勘定	26,928	29,470
その他（純額）	6,401	6,224
有形固定資産合計	165,141	163,740
無形固定資産		
のれん	9,802	9,580
その他	5,424	5,225
無形固定資産合計	15,227	14,806
投資その他の資産		
投資有価証券	16,689	17,150
長期貸付金	5,965	5,075
繰延税金資産	7,778	7,853
その他	2,276	2,433
貸倒引当金	△109	△109
投資その他の資産合計	32,601	32,403
固定資産合計	212,969	210,950
資産合計	322,078	330,161

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	418	619
1年内返済予定の長期借入金	22,730	22,772
未払金	11,151	10,267
未払法人税等	2,752	2,411
視聴料預り金	13,361	13,576
引当金	421	306
その他	10,838	18,407
流動負債合計	61,675	68,361
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	48,961	48,071
退職給付引当金	3,207	3,289
資産除去債務	2,426	2,440
その他	5,742	6,383
固定負債合計	80,338	80,185
負債合計	142,013	148,547
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	158,193	158,193
利益剰余金	17,707	19,108
自己株式	△3,883	△3,883
株主資本合計	182,016	183,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△363	△360
繰延ヘッジ損益	△343	△300
為替換算調整勘定	△1,415	△1,284
その他の包括利益累計額合計	△2,122	△1,944
新株予約権	62	22
少数株主持分	108	117
純資産合計	180,065	181,613
負債純資産合計	322,078	330,161

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）
営業収益	35,171	37,911
営業原価	21,285	22,434
営業総利益	13,886	15,477
販売費及び一般管理費	12,841	9,560
営業利益	1,045	5,916
営業外収益		
受取利息	172	124
受取配当金	13	14
持分法による投資利益	—	48
その他	26	35
営業外収益合計	212	223
営業外費用		
支払利息	353	315
持分法による投資損失	135	—
その他	304	161
営業外費用合計	794	476
経常利益	463	5,663
特別利益		
貸倒引当金戻入額	24	—
投資有価証券売却益	144	4
その他	0	235
特別利益合計	169	239
特別損失		
固定資産除却損	70	17
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	990	—
その他	315	3
特別損失合計	1,376	20
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△743	5,882
法人税、住民税及び事業税	108	2,255
法人税等調整額	213	197
法人税等合計	322	2,453
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,066	3,428
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△12	8
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,053	3,420

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,066	3,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	5
繰延ヘッジ損益	△526	49
為替換算調整勘定	125	131
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△7
その他の包括利益合計	△499	178
四半期包括利益	△1,565	3,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,553	3,598
少数株主に係る四半期包括利益	△12	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△743	5,882
減価償却費	6,185	6,037
のれん償却額	270	219
受取利息及び受取配当金	△186	△139
支払利息	353	315
持分法による投資損益(△は益)	135	△48
固定資産除却損	70	17
売上債権の増減額(△は増加)	10	△462
番組勘定の増減額(△は増加)	1,618	1,015
未払金の増減額(△は減少)	145	△885
未払消費税等の増減額(△は減少)	691	△244
前受収益の増減額(△は減少)	8,377	9,521
その他	△864	△512
小計	16,063	20,717
利息及び配当金の受取額	175	103
利息の支払額	△256	△219
法人税等の支払額	△312	△2,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,669	17,909
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△2,997	△2,947
有価証券の売却及び償還による収入	1,353	12,300
有形固定資産の取得による支出	△4,915	△4,094
有形固定資産の売却による収入	102	1
無形固定資産の取得による支出	△403	△461
投資有価証券の取得による支出	—	△26
投資有価証券の売却及び償還による収入	997	6
子会社株式の取得による支出	△2,940	—
関係会社株式の取得による支出	△553	△502
長期貸付金の回収による収入	1,107	1,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,249	5,280
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△165	△573
長期借入金の返済による支出	△1,107	△1,005
配当金の支払額	△1,906	△1,903
少数株主への配当金の支払額	△4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,184	△3,481
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,253	19,755
現金及び現金同等物の期首残高	66,727	59,499
現金及び現金同等物の四半期末残高	70,980	79,254

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	23,140	12,031	35,171	—	35,171
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,102	1,272	2,374	△2,374	—
計	24,242	13,303	37,546	△2,374	35,171
セグメント利益又は 損失(△)	△2,888	4,118	1,229	△184	1,045

(注1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△184百万円には、セグメント間取引消去53百万円と、各報告セグメントに配分していない全社費用△238百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(注3) 営業収益及びセグメント利益又は損失(△)は、「Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日) 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載の変更に基づいて作り直しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	24,985	12,925	37,911	—	37,911
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,143	1,440	2,584	△2,584	—
計	26,129	14,366	40,495	△2,584	37,911
セグメント利益	968	5,118	6,086	△170	5,916

(注1) セグメント利益の調整額△170百万円には、セグメント間取引消去52百万円と、各報告セグメントに配分していない全社費用△222百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載の変更等により、前連結会計年度末に比して、当第1四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。

当第1四半期連結会計期間における報告セグメントごとの資産の金額は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	合計	調整額	四半期連結貸借対照表計上額
セグメント資産	54,147	176,412	230,559	99,601	330,161

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、従来有料多チャンネル事業に含まれていた通信衛星設備等の衛星関連資産について宇宙・衛星事業へ集約し、当該通信衛星設備等の放送用トランスポンダー（衛星中継器）に関連する取引についても宇宙・衛星事業へ移管しております。

これらは、当社を取り巻く市場環境の変化や、平成27年3月期を目標としたスカパー！サービスにおけるMPEG-2方式からH.264方式への移行計画の実施に対応するために、衛星フリート全体を一元的に管理し、各事業セグメントのマネジメント責任の明確化や採算性追求による利益構造の改善を図ることを目的としたものであります。

なお、従来「衛星事業」としていた報告セグメントの名称を「宇宙・衛星事業」へ変更しております。

この変更後の各報告セグメントの主要な事業内容は次のとおりであります。

報告セグメント	主要な事業内容
有料多チャンネル事業	有料多チャンネル放送プラットフォーム事業及び関連放送事業
宇宙・衛星事業	通信衛星を利用した有料多チャンネル放送向け衛星回線提供、各種通信事業及び宇宙関連事業

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載の変更等により、前連結会計年度末に比して、報告セグメントごとののれんの金額に重要な変動が生じております。

当第1四半期連結会計期間におけるのれんの金額は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	合計	調整額	四半期連結貸借対照表計上額
未償却残高	0	9,580	9,580	—	9,580

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。